



2023年3月期 決算短信 補足資料

(2022年4月～2023年3月)

2023年5月12日



STANDARD
TOKYO

証券コード: 1905

会社概要	3～4ページ
2023年3月期 決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)	10ページ
2024年3月期の業績予想(連結)	11ページ
2024年3月期の連結売上高予想	12ページ
2024年3月期の投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2019年3月期～)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(2019年3月期～)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、
建築・土木構造物をお使いになれる全ての人々に、
安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、
お客様のご要望にお応えしてまいります所存であります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 雅之
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	(単体) 200名 (連結) 319名 ※2023年3月31日現在
拠点	(営業所) 北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 (出張所) 北東北、郡山、北陸の3ヶ所 (機材センター・試験研究室) 東京機材センター
グループ会社	(連結子会社：国内) (株)テノックス技研、(株)広島組、大三島物産(株) (非連結)、(株)複合技術研究所 (連結子会社：海外) TENOX ASIA COMPANY LIMITED (ベトナム)

グループ会社名	事業内容
(株)テノックス（当社）	基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売 〔主な工法〕 杭工法 : TN-X工法、TN工法、ガンテツパイル工法、 NSエコパイル工法、ATTコラム工法 地盤改良工法 : テノコラム工法、ピュアパイル工法、TOFT工法
(株)テノックス技研	(株)テノックスの基礎工事の施工及び機材の賃貸
(株)広島組	基礎工事の施工
大三島物産(株) （非連結）	基礎工事の施工
(株)複合技術研究所	土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋
TENOX ASIA COMPANY LIMITED	ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

2023年3月期 決算の概要(連結)



- 売上高: 鉄道高架橋を中心としたインフラ関連の杭工事や、民間設備投資の盛り上がりに伴う工場関連の地盤改良工事などの大型工事が寄与したことから増収
- 利益 : 増収に加え、記録的な寒波による大型物件の施工への影響が軽微であったことから増益

■売上高	183億17百万円	前期比 +35億0百万円 (+23.6%) ✓主に土木の杭工事が伸長し増収
■営業利益	6億53百万円	前期比 +1億86百万円 (+40.0%) ✓主に増収に加え施工効率が高まったことにより増益
■経常利益	6億94百万円	前期比 +1億78百万円 (+34.6%) ✓主に営業利益の増益による
■親会社株主に帰属する 当期純利益	4億82百万円	前期比 +1億25百万円 (+34.9%) ✓主に経常利益の増益による
■受注高	181億23百万円	前期比 +29億7百万円 (+19.1%)
■受注残高	57億89百万円	前期末比 +2億58百万円 (+4.7%) ✓当期末の主な残高は道路、鉄道などの土木杭工事

連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2022/3	売上高 比率	2023/3	売上高 比率	前期比	
売上高	14,817	—	18,317	—	+3,500	+23.6%
売上原価	12,461	84.1%	15,553	84.9%	+3,091	+24.8%
売上総利益	2,355	15.9%	2,764	15.1%	+409	+17.4%
販売費及び 一般管理費	1,888	12.7%	2,111	11.5%	+222	+11.8%
営業利益	466	3.1%	653	3.6%	+186	+40.0%
経常利益	516	3.5%	694	3.8%	+178	+34.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	357	2.4%	482	2.6%	+125	+34.9%

連結貸借対照表の概要



- 流動資産：主に売掛債権や未成工事支出金等が増加
- 流動負債：主に支払手形・工事未払金等が増加

（単位：百万円）

	2022/3末	2023/3末	前期末比	
流動資産	14,850	15,642	+792	+5.3%
固定資産	2,831	3,127	+296	+10.5%
資産合計	17,681	18,770	+1,089	+6.2%
流動負債	4,695	5,679	+984	+21.0%
固定負債	686	623	△62	△9.1%
負債合計	5,381	6,303	+922	+17.1%
純資産合計	12,300	12,467	+167	+1.4%
（自己資本比率）	（67.4%）	（64.4%）	（△3.0ポイント）	—

連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

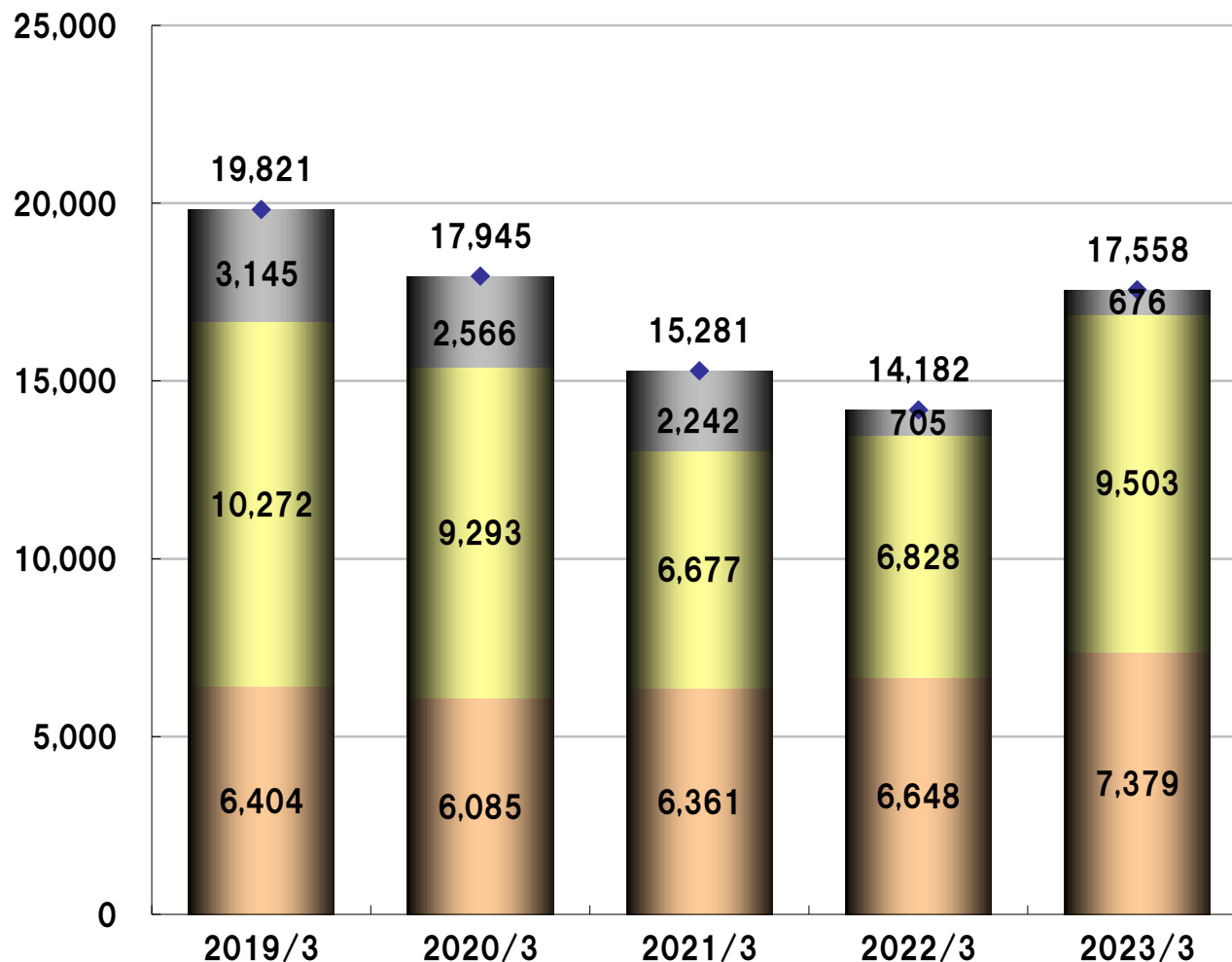
	2022/3	2023/3	当期の主な要因	
営業活動による キャッシュ・フロー	+1,795	+955	税金等調整前当期純利益	+7億32百万円
			減価償却費	+4億30百万円
			売上債権及び契約資産の増加	△7億43百万円
			仕入債務の増加	+7億10百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△107	△622	有形固定資産の取得による支出	△3億19百万円
			長期預金預入による支出	△3億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△514	△404	配当金の支払額	△1億83百万円
			自己株式の取得による支出	△1億69百万円
現金及び現金同等物の 増減額	+1,178	△65		
現金及び現金同等物の 当期末残高	9,581	9,515		

売上高の推移(単体)



(単位:百万円)

■地盤改良工事 ■杭工事 ■その他 ◆計



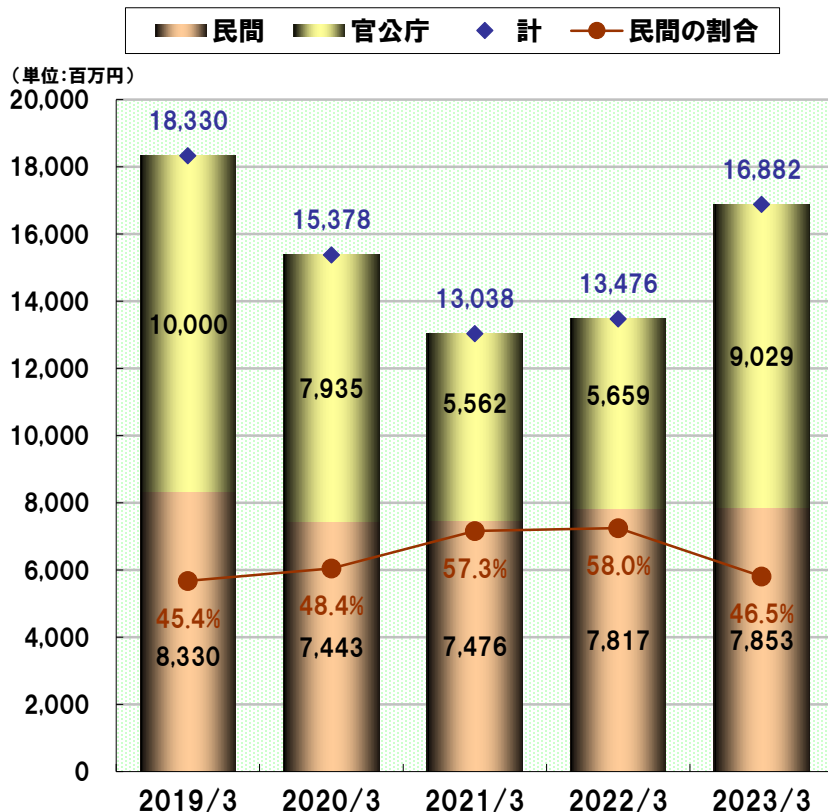
前期比 主な要因

- 杭工事:
主に、北海道新幹線延伸事業や関西インフラ関連などの大型土木工事が寄与
- 地盤改良工事:
主に、民間設備投資の盛りに伴う大型の工場を施工

売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)



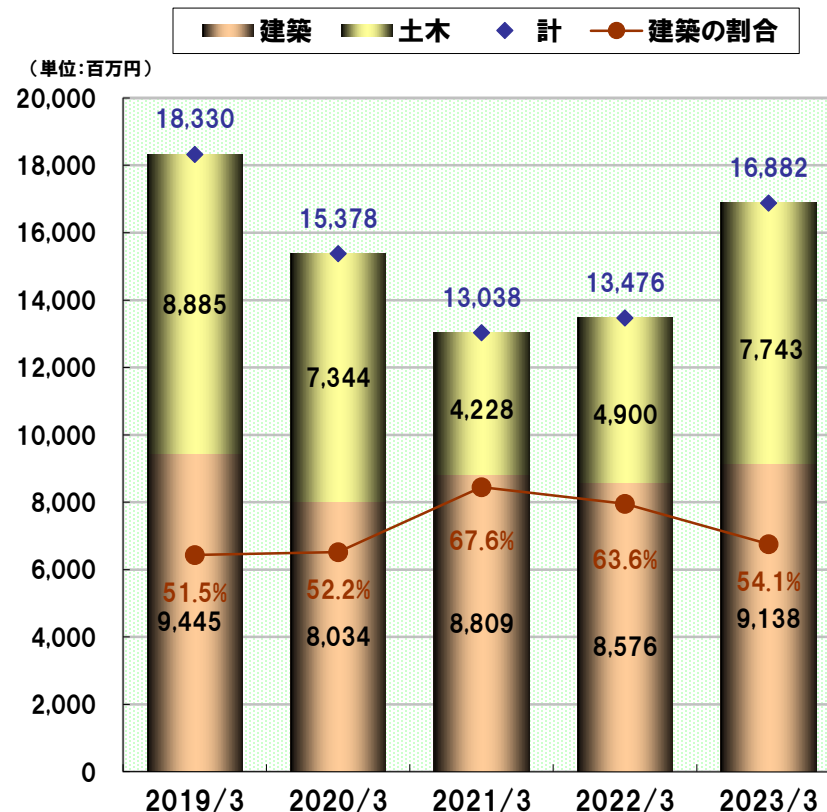
民間vs官公庁の推移(単体)



前期比 主な要因

- 民間は、大型物流施設が減少した一方工場が増加
- 官公庁は、道路や鉄道などが増加

建築vs土木の推移(単体)



前期比 主な要因

- 建築は、大型物流施設が減少した一方工場が増加
- 土木は、道路や鉄道などが増加

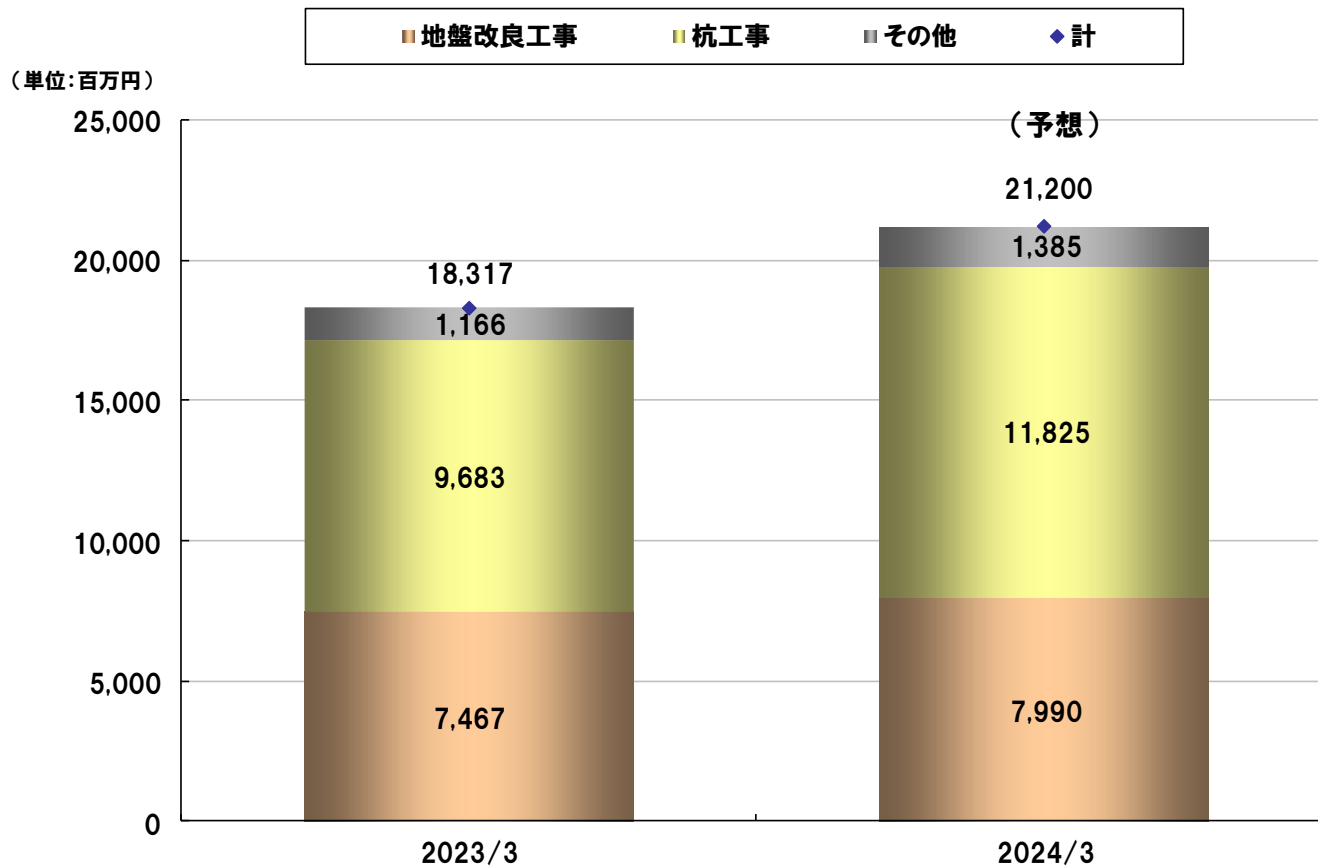
2024年3月期の業績予想(連結)



- 売上高: 土木では引き続き関西インフラ関連や北海道新幹線延伸事業が予定され、建築では引き続き大型の工場の施工が予定されることなどから増加
- 利益 : 建設資材・燃料などの価格高騰の影響を受ける懸念は引き続きあるものの増加

■売上高	《予想》 212億円	前期比 +28億82百万円 (+15.7%)
■営業利益	《予想》 8.1億円	前期比 +1億56百万円 (+24.0%)
■経常利益	《予想》 8.4億円	前期比 +1億45百万円 (+20.9%)
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 5.6億円	前期比 +77百万円 (+16.0%)

2024年3月期の連結売上高予想



- **杭工事:**
道路、鉄道関連の土木工事がさらに増加
- **地盤改良工事:**
主に、大型の工場が引き続き寄与

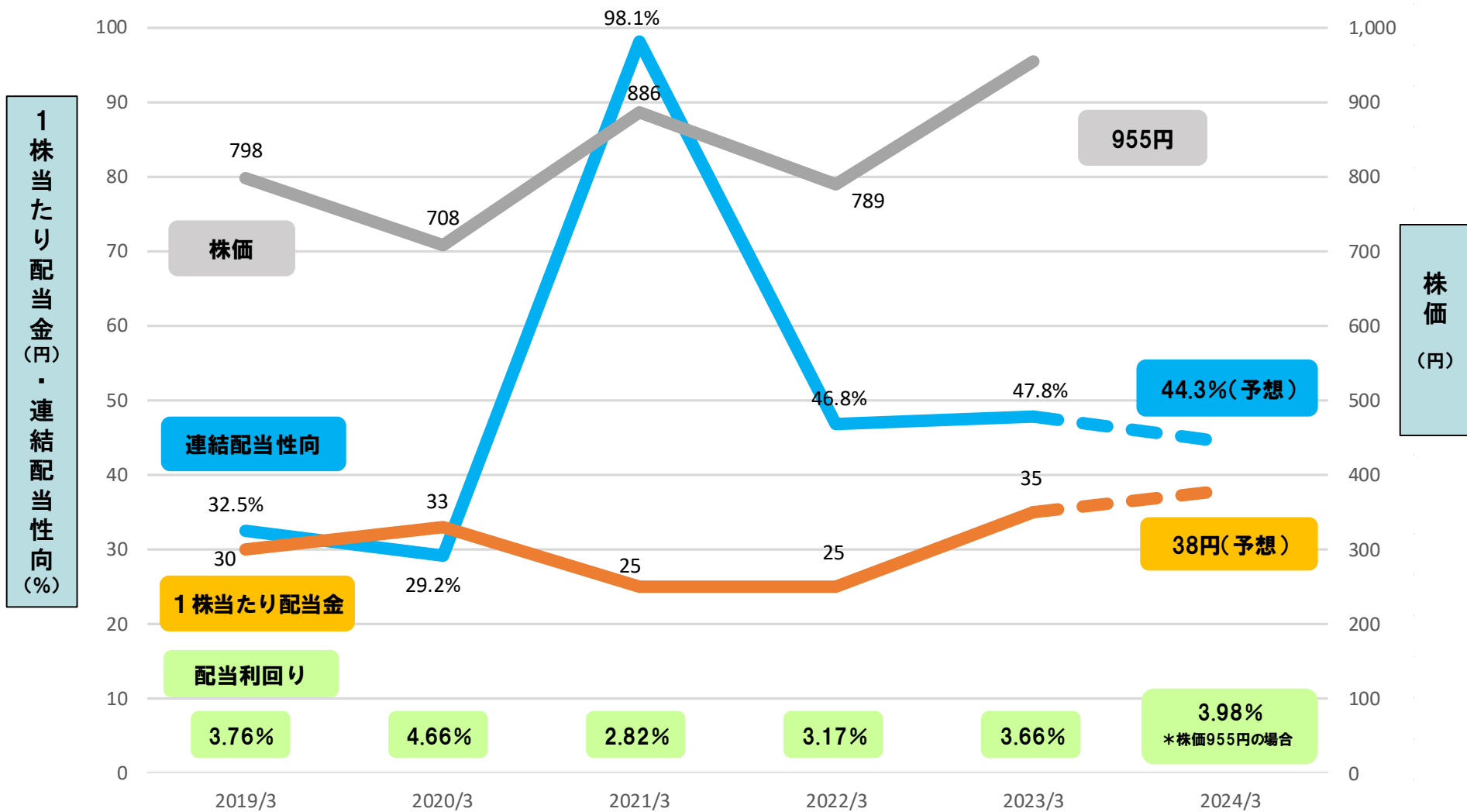
2024年3月期の投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

■設備投資額	《予想》 10億71百万円	前期比 +6億96百万円 (+185.7%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5億円	前期比 +1億16百万円 (+30.4%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 90百万円	前期比 +27百万円 (+43.9%) ✓ 主に研究所や大学との共同研究、新技術の開発
■従業員数	《予想》 232名	前期比 +29名

(ご参考) 株価、配当金及び連結配当性向 (2019年3月期～)

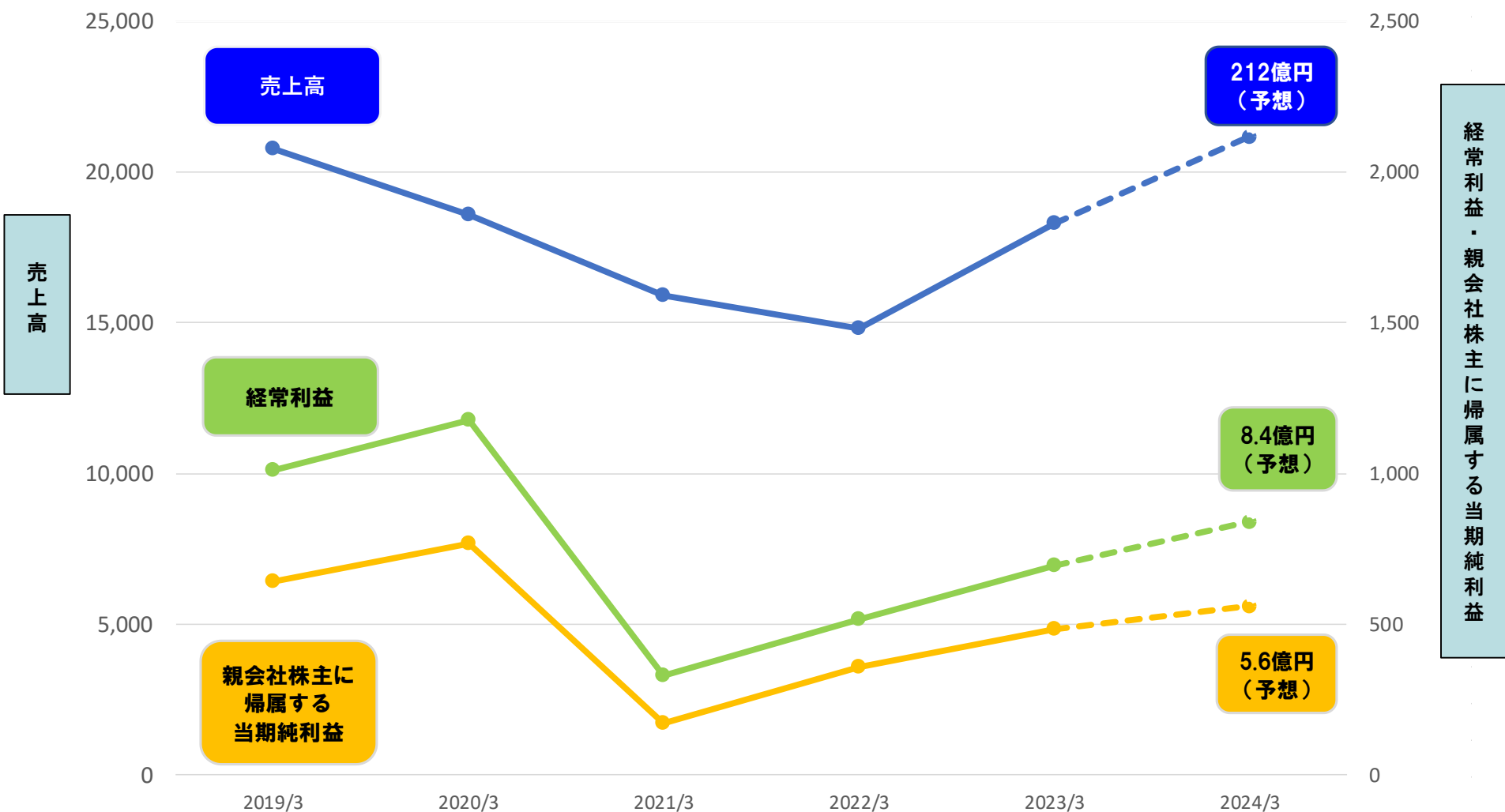


(ご参考) 連結業績推移 (2019年3月期～)



(単位:百万円)

(単位:百万円)



(ご参考) 連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 (予想)
売 上 高	22,427	19,830	18,226	20,441	20,774	18,583	15,906	14,817	18,317	21,200
売上原価	18,834	16,296	15,432	17,877	18,121	15,570	13,816	12,461	15,553	
売上総利益	3,593	3,533	2,794	2,564	2,653	3,012	2,090	2,355	2,764	
販売費及び 一般管理費	2,051	1,570	1,732	1,815	1,700	1,873	1,781	1,888	2,111	
営業利益	1,541	1,962	1,062	749	953	1,139	308	466	653	810
経常利益	1,610	1,905	1,224	785	1,010	1,179	331	516	694	840
(売上高 経常利益率: %)	(7.2)	(9.6)	(6.7)	(3.8)	(4.9)	(6.3)	(2.1)	(3.5)	(3.8)	(4.0)
税金等調整前 当期純利益	1,633	1,900	1,214	748	1,015	1,208	311	527	732	
親会社株主に帰属する 当期純利益	861	1,257	886	523	640	768	173	357	482	560
(売上高 当期純利益率: %)	(3.8)	(6.3)	(4.9)	(2.6)	(3.1)	(4.1)	(1.1)	(2.4)	(2.6)	(2.6)
	2015/3 期末	2016/3 期末	2017/3 期末	2018/3 期末	2019/3 期末	2020/3 期末	2021/3 期末	2022/3 期末	2023/3 期末	2024/3 期末(予想)
純 資 産	9,814	10,338	11,021	11,393	11,636	12,195	12,215	12,300	12,467	12,800
総 資 産	16,910	16,481	16,780	17,992	16,766	18,667	18,163	17,681	18,770	19,000

2018/3期末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。

環境と共存し、確かな技術力で
社会と暮らしを支える



ホームページ: <https://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画情報推進部 予算・IRグループ

https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/

電話: 03-3455-7787